

インターネットの下記サイトにて、セミナー案内及び出版案内が御覧頂けます。又、お申し込みも受け付けております。
<http://www.tic-co.com/>

天候や病原菌の影響を受けにくく、安心・安全・高品質な魚介類を年間通して供給可能な閉鎖空間での循環養殖システム（陸上養殖）が注目されている！！
 本セミナーでは、水産資源の需要・供給など養殖の現状を始め、海面と陸上での養殖の比較、陸上養殖の動向・採算性とクロマグロ、アワビ、エビ、トラフグ、オニオコゼ等の経済性・低コスト化を含めた養殖のポイント・展望について、斯界の第一線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます！！

陸上養殖の現状・事業性と 技術開発及び取り組み等最新動向

日時 2010年12月1日(水) 10:15～16:45
 会場 東京・新お茶の水・総評会館・4F会議室
 急ぎのご連絡は株式会社技術情報センター(TEL.06-6358-0141)まで!!
 受講料 49,980円(1名につき)(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)
 (テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む)

プログラム

10:15 11:30	<p>・陸上養殖を巡る最新動向と事業採算性 <small>東京海洋大学 理事・副学長(研究・国際担当)・教授 農 学 博 士</small> 竹内俊郎氏</p> <p>1. 養殖の必要性 (1)海洋環境の変化と水産資源の不安 (2)水産資源の需要と供給 (3)養殖の問題点</p> <p>2. なぜ陸上養殖(閉鎖循環式養殖システム)なのか (1)陸上養殖(閉鎖循環式養殖システム)とは (2)海面と陸上での養殖の比較</p> <p>(3)陸上養殖の現状とニーズ、最近の動向 3. 経済性に基づいた陸上養殖の計画・設備と採算性 (1)経済性に基づいた陸上養殖の計画・設備の考え方 (2)陸上養殖のコストについて (3)陸上養殖におけるビジネスチャンス (4)これからの陸上養殖と今後の展望 4. 質疑応答</p>
11:45 13:00	<p>・都市近郊での陸上養殖 <small>東海大学 海洋学部 水産学科 教授 博 士 (水産学)</small> 秋山信彦氏</p> <p>1. 様々な養殖形態と問題点 (1)水産養殖の方法と現状 (2)海面養殖と陸上養殖の問題点 (3)都市近郊での優位性</p> <p>2. 陸上養殖でのコスト低減 (1)廃熱を利用したMH冷凍システム ・サケ科魚類</p> <p>(2)地下海水の利用 ・掛け流しによる養殖(アワビなど) ・半循環方式(マグロなど) 3. 陸上養殖の今後の展望 ~陸上であることを活かした方法と考え方~ 4. 質疑応答</p>
14:00 15:15	<p>・日本初・閉鎖循環式屋内型エビ生産システム <small>株式会社アイ・エム・テクノロジー</small> 野原節雄氏 <small><平成21年度「安全なエビ(バナメイ)の生産システム・プラントの開発」により、農林水産大臣賞を受賞。></small></p> <p>1. 陸上養殖を取り巻く現状 2. エビの生物学的特徴 3. なぜ安全なエビの生産ができるのか? (屋内型エビ生産システムの特徴) 4. 育成管理手法</p> <p>5. 生産された商品の特徴 6. 調理例 7. 海外におけるエビの陸上養殖事例 8. 今後の展望 9. 質疑応答</p>
15:30 16:45	<p>・エコ閉鎖循環養殖システムによるトラフグ、オニオコゼ等の陸上養殖 <small>ICRAS(福山大学) 代表取締役 福山大学 生命工学部 教授 海洋生物学 博士</small> 伏見浩氏</p> <p>1. トラフグ、オニオコゼの生態的特徴 2. ICRAS閉鎖循環養殖システムの特徴 (1)初期投資額の抑制 (2)ランニングコストの抑制</p> <p>3. ICRASの生産管理モデル - 効率的な生産管理を目指して -</p> <p>4. 地域起こしを目指す「尾道布刈のフグとオコゼ」の生産 - 閉鎖循環養殖による新しいビジネスモデル - 5. 今後の展望 - 閉鎖循環式過剰養殖設備事業の普及 - 6. 質疑応答</p>

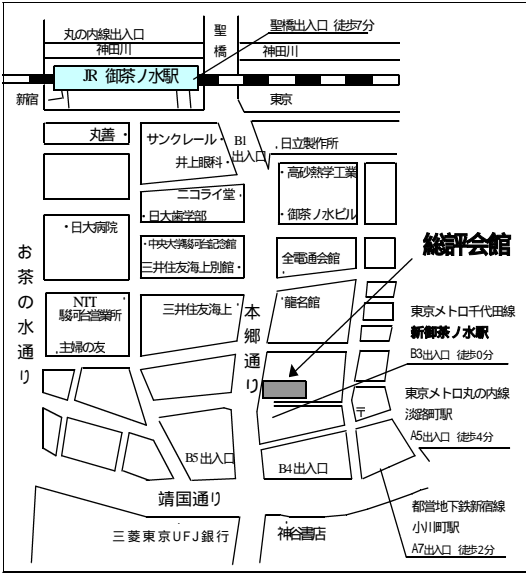
- 名刺交換会 -

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

会場案内

東京・新お茶の水・総評会館 4F 会議室

(急ぎのご連絡は㈱技術情報センター TEL.06(6358)0141 まで!!)



ご受講に際してのお願い
 講義の進行、質疑応答の状況等によりまして、
 終了時刻が多少前後することがございます。
 予めご了承下さい。
 講義中のお呼び出しは致しかねますので、受講
 者にご用件がある場合は、弊社までお電話下さ
 さい。昼休み、または休憩時間にご伝言致します。
 録音機器の持ち込みはご遠慮下さい。

申込要領

申込方法

- ・下記申込書に、必要事項ご記入の上、FAXにて弊社セ
 ミナー一部宛に御送付下さい。又、弊社ホームページから
 もお申込みいただけます。
- ・申込書が着き次第、必ず確認の電話を当方より入れさせ
 ていただき、セミナー参加券、請求書、会場地図を御送
 付いたします。

キャンセル規定

- ・キャンセルの場合は開催日の4営業日前までにお知らせ
 下さい。それ以降は受講料の払い戻しはできませんので
 予めご了承下さい。尚、申込者をご都合の悪い場合は、
 代理の方がご出席下さい。

支払方法

- ・お支払いは銀行振込あるいは郵便振替、セミナー当日現
 金が現金書留でお支払い下さい。
- ・銀行振込の場合は下記口座へお振込み下さい。

取引銀行(普通預金口座)	
三井住友銀行・梅田支店	0668292
三菱東京UFJ銀行・梅田中央支店	4513572
三菱東京UFJ銀行・梅田支店	739654
三井住友銀行・梅田支店	5084533
ゆうちょ銀行・店名四一八(読み ヨンイチハチ)	1325893
(店番418)	
(名義: ㈱技術情報センター)	

- ・郵便振替の場合、振替用紙をお送り申し上げます。
- ・現金書留の場合は、申込書を同封して下さい。着次第セ
 ミナー参加券と領収書・会場地図をご送付致します。

受講料

39,480円

1名につき、~~49,980円~~

(テキスト代、昼食代、お茶代、消費税含む。)

(同時複数人数お申込みの場合1名につき~~44,730円~~)

34,230円

主催



㈱技術情報センターセミナー部

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル
 TEL 06-6358-0141 FAX 06-6358-0134
 ホームページ <http://www.tic-co.com/>

〔切り取り線〕

2010. 12/1 陸上養殖の事業性・技術開発・取り組みセミナー (No.20101206) 申込書		年	月	日
会社名	TEL	FAX		
所在地	〒□□□□-□□□□		都道府県	
お支払い方法(印をおつけ下さい)		お支払い予定日		通信欄
銀行振込 (三井住友 (0668292・5084533) 郵便振替 当日現金 三菱東京UFJ (4513572・739654) 現金書留 ゆうちょ銀行)		月 日		講師紹介割引(野原節雄氏)
所属部課・役職名		氏名		
受講者	部	フリガナ		DM不要
	課	フリガナ		DM不要
	長	フリガナ		DM不要
受講者の司	部長	フリガナ		DM不要
受講者の司	課長	フリガナ		DM不要
受講者の司	長	フリガナ		DM不要
受講者の司	担当者	フリガナ		DM不要

所属部課は正確にご記入下さい。また、受講者の上司氏名はフルネームでお願いいたします。